2019年「街かど古典カフェ」Ⅰ

京の『美』を創る女性たち

リレー講演会〈5回連続シリーズ〉

千年を超える歳月が、日本文化の粋ともいえる様々なジャンルの『美』を京都に蓄積してきました。いけばな、京舞、植物染、陶芸、和菓子、そして和風建築。

今、厳しい時代状況の中で、その伝統文化を継承し、新たな生命を吹き込み、次代の文化を創造することに腐心する京の女性たちがいます。その女性たちもまた、日本文化の粋ともいえる『美』を有しているのではないでしょうか。

「街かど古典カフェ」は、一流の講師を囲み、趣のあるパリ街角のカフェのように、少人数で講師を囲み、親しく議論を深める贅沢な講座です。

日　時　2019年 6月15日、22日、7月6日、13日、20日 ※いずれも土曜日
13：30～15：00（受付 13：00）

会　場　香老舗 松栄堂　薫習館KARANI HALL（京都市中京区烏丸通二条上ル東側）
※京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅７番出口　徒歩約３分
※京都市営地下鉄烏丸・東西線「烏丸御池」駅１番出口　徒歩約５分

定　員　30名（申し込み多数の場合は抽選）

受講料　10,000円（5回通し・お茶菓子付）
※１講座のみの受付はしておりません。

講座内容
第１回（6月15日）吉岡　更紗（「染司よしおか」六代目）
第２回（6月22日）諏訪　蘇山（陶芸家 四代目）
第３回（7月 6 日）青山　洋子（和菓子店青洋店主）
　　芳野　綾子（すはま屋店主）
第４回（7月13日）井上　安寿子（「京舞井上流」次代後継者）
第５回（7月20日）池坊　専好（華道家元池坊 次期家元）
コーディネーター：中川　典子（株式会社酢屋、株式会社千本銘木商会 専務取締役）

街かど古典カフェのお楽しみ
毎回、「京都・和菓子の会」を主宰する中川典子さんがデザインするすてきなあつらえ菓子が登場します。一期一会のお菓子をお楽しみください。

募集要項

Ⅰ．募集期間　2019年3月15日（金）～4月25日（木）必着

Ⅱ．古典の日推進委員会ホームページもしくは郵便往復はがき（1通につき1名）

Ⅲ．往復はがきの記入方法

【往信用の表】

【返信用の裏】

※この面には何も記入しないでください

【返信用の表】

【往信用の裏】

この折り目を内側に折って差し出してください

①氏名（フリガナ）
②郵便番号、住所
③電話番号
④メールアドレス（お持ちの方のみ）
⑤性別
⑥年齢

※字が消せるタイプの筆記具はご使用にならないでください。

Ⅳ．※申し込み多数の場合は抽選。抽選結果の通知については5月中旬を予定。
※当選者の方には、受講料の入金確認後、受講票（返信はがき）を送付します。（往復ハガキでお申し込みの方）
Webでお申し込みいただいた方は、メールでご案内いたします。（手数料は各自ご負担ください）
※入金後のキャンセルはできませんのでご注意ください。

Ⅴ．注意事項（次の場合は応募が無効となりますので、ご注意ください）
①Web申し込み、郵便往復はがき以外での応募　②重複応募（Web申し込み・ハガキの重複も含む）
③1通につき2名以上の応募　④記入漏れ、記載不備　⑤応募締切日を過ぎたもの

主催：古典の日推進委員会　後援：京都新聞　特別協賛：村田機械株式会社　協力：香老舗 松栄堂

プロフィール

■講　師（講座担当順）

吉岡（よしおか）　更紗（さらさ）　（「染司よしおか」六代目）

京都で江戸時代より続く染屋で、当代の吉岡幸雄で五代を数える「染司よしおか」に生まれる。アパレルデザイン会社勤務を経て、愛媛県西予市野村町シルク博物館にて養蚕、製糸、撚糸、染色、製織を学ぶ。2008年「染司よしおか」に戻り、自然界に存在する植物染による制作を行い、古社寺の行事に関わり、復元にも取り組んでいる。

諏訪（すわ）　蘇山（そざん）　（陶芸家　四代目）

父 三代 諏訪蘇山・母 十二代 中村宗哲の三女。平成14年9月、四代諏訪蘇山を襲名。各地にて諏訪蘇山展を開催。初代蘇山は加賀藩士の家に生まれ、明治維新後、九谷で陶画を学び、焼き物の道に入る。1907年、蘇山青磁を完成させ、1917年に帝室技芸員を拝命。姪の虎子が二代を継ぎ、その甥の修が三代を継ぐ。

青山（あおやま）　洋子（ひろこ）　（和菓子店青洋店主）

有職菓子御調進所老松で10年間修行し、独立。和菓子の美しさ、面白さ、美味しさ、可能性を多くの人に知っていただきたいと思い、2012年3月に工房を構える。伝統の技法を生かし、匂いを残しつつ、現代の生活スタイルに合う和菓子を提案している。

芳野（よしの）　綾子（りょうこ）　（すはま屋店主）

「洲濱」の専門店で知られた「植村義次」（1657年創業）が、2016年後継者がおらず閉店。2018年11月、十四代目主人のレシピを受け継ぎ、試作を重ね伝統の味を復活。コーヒーや紅茶、抹茶とともに楽しめる「すはま屋」をオープン。

井上（いのうえ）　安寿子（やすこ）　（「京舞井上流」次代後継者）

父は能楽観世流九世観世銕之丞、母は京舞井上流五世家元井上八千代。2歳より稽古を始め、曾祖母である四世井上八千代および五世に師事。3歳のときに「四世井上八千代米寿の会」で初舞台（上方唄「七福神」）。2006年、17歳で井上流名取となる。2011年、京都造形芸術大学卒業。2013年、自ら主宰する「葉々の会」発足。公益社団法人日本舞踊協会会員。京都造形芸術大学舞台学科非常勤講師。

池坊（いけのぼう）　専好（せんこう）　（華道家元池坊　次期家元）

華道家元池坊の次期家元。いのちをいかすという池坊いけばなの精神に基づく多彩な活動を展開。現在は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員会委員を務める。学習院女子大学国際文化交流学部、国士舘大学21世紀アジア学部、名古屋外国語大学現代国際学部、平安女学院大学文化創造センター、立命館大学文学部の客員教授を務める。

■コーディネーター

中川（なかがわ）　典子（のりこ）　（株式会社酢屋、株式会社千本銘木商会専務取締役）

茶道美術出版社勤務後、岐阜、奈良県吉野での銘木修行を経て、現職。女性として珍しい銘木師として、木のコーディネイト、床の間・家具等の内装及び住宅建築に携わる。「DO YOU KYOTO？ネットワーク」大使。「京都・和菓子の会」を主宰し、今年、15周年を迎える。

古典に抱かれて
11月1日古典の日

【お問い合わせ先】

古典の日推進委員会（（公財）京都文化交流コンベンションビューロー内）

〒600-8009　京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地　京都経済センター3階

TEL:075-353-3060（月～金 9:00～17:00　土日祝は除く）　FAX:075-353-3055

http://www.kotennohi.jp/　Facebookにて新着情報配信中！

古典に抱かれて
11月1日古典の日